

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
192	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Prospective study of alcohol consumption and the risk of primary open-angle glaucoma. 飲酒と原発性開放隅角緑内障の危険性についての前向き研究	
執筆者	
Kang JH, Willett WC, Rosner BA, Hankinson SE, Pasquale LR.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Ophthalmic Epidemiol. 2007 May-Jun;14(3):141-7.	
キーワード	
飲酒、原発性開放隅角緑内障、前向き研究	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>アルコール摂取は原発性開放隅角緑内障の危険因子である眼内圧を低下させる。我々はアルコール摂取が原発性開放隅角緑内障の危険性を低下させるか否か検討した。</p> <p>方法：</p> <p>The Nurses' Health Study と the Health Professionals Follow-up study のコホートから40歳以上の女性78712人(看護師)と男性41667人(医療職)を対象として1515703人年追跡した。隔年ごとに質問表で飲酒量、可能性のある交絡要因、原発開放隅角緑内障の診断の情報を更新した。追跡期間中、856例の原発性開放隅角緑内障を自己申告にて確認、さらに医療記録でも確認した。おのおののコホート及びプールされたコホートを用いて原発性開放隅角緑内障の多変量相対リスク(RR)を求めた。</p> <p>結果：</p> <p>&lt;30g/dayの飲酒は原発性開放隅角緑内障のリスクと関連を認めなかった。非飲酒者と比較したプールされたコホートのRRは&lt;10g/dayの飲酒は0.99 (95%CI:0.83-1.19), 10-19g/dayの飲酒は0.96 (95%CI:0.76-1.12), 20-29g/dayの飲酒は0.95 (95%CI:0.68-1.33)であった。&gt;30g/dayの飲酒は負の関連が認められたが統計的には有意でなかった(RR = 0.71 (95%CI:0.49-1.04)し、線形の関連も認められなかった。原発性開放隅角緑内障のリスクは飲酒の種類により異ならなかった。</p> <p>結論：</p> <p>男女大規模コホートを対象とした本研究において、飲酒は原発性開放隅角緑内障に影響を与えていなかった。</p>	